

産業成長戦略の令和2年度の進捗状況等

分野：林業分野

戦略の柱：木材利用の拡大（2）

取組方針：マーケティング戦略の強化

【概要・目的】

これまであまり木材が使われてこなかった非住宅建築物の木造化・木質化に向けて、木造建築に精通した建築士の育成や施主の木材利用への理解の醸成等への取り組みを推進するとともに、CLT等の新しい木質建材を活用した建築を促進する。また、県外消費地での展示会や商談会の開催、流通拠点の活用促進と連携等により、県内外、海外への県産木材・木製品の販路拡大を図る。

令和2年度当初計画（P）

令和2年度の取り組み状況（D）

課題と令和3年度の取り組み（C、A）

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）
  - ・全体セミナーの開催（東京：4、7、2月）
  - ・非住宅建築物等の見学会の開催（高知：5月、秋田：10月）
- (2) 県産材を活用した木造住宅建築の支援
  - ・県内外の県産材使用住宅への助成
  - ・住宅分野へのJAS製材品の促進
  - ・テレビ番組による情報発信（年間24回）
  - ・もくもくエコランドへの出展（10月31日、11月1日）
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
  - ・流通拠点での土佐材の販売（8,500 m<sup>3</sup>/年）
  - ・土佐材パートナー企業との意見交換会、非住宅部材等の提案
- (4) 海外への販売促進
  - ・木材輸出の促進に向けたセミナーの開催
  - ・海外展示会（台湾）への出展

計画を進めるに当たってのポイント

- ・流通拠点及び土佐材パートナー企業との連携

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）※2（1）の再掲
  - ・木材利用推進全国会議 回幹事会（webミーティング）の開催（5/25、6/10、9/24）
  - ・木材利用推進全国会議 運営協議会での活動計画の変更等（6/30、11/16）
  - ・木材利用推進全国会議によるweb動画配信（木造建築物：9/28～（第1回）、12/8～（第2～4回（予定を含む））、セミナー：10/19～）
  - ・木材利用推進全国会議 理事会・2020年度総会及びセミナー（東京：11/20）
  - ・経済同友会 地方創生委員会・土佐経済同友会・高知県の意見交換会（web会議8/7）
  - ・経済同友会、土佐経済同友会との協働プロジェクト推進委員会（東京：10/20）
  - ・経済同友会 地方創生委員会の木造建築物視察（香美市・高知市・梶原町：11/11・12）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

  - ・木材利用推進全国会議 全体セミナーの中止（4/24延期⇒6/16中止）
- (2) 県産材を活用した木造住宅建築の支援
  - ・住宅助成事業の説明会の開催（4月3,7,9日）（8名）
  - ・住宅助成事業の申込
    - ・県内：295戸 12月末現在（R元：344戸 対前年同月比86%）
    - ・県外：160戸 12月末現在（R元：164戸 対前年同月比98%）
  - ・ぷらっとホームMOKU（木と人出合い館）を活用した木造住宅等木の良さの情報発信、住宅相談の実施（来館者数12月末現在595名）
  - ・テレビ番組による情報発信の開始（4月～）
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
  - ・木製品工業連合協同組合 三役会での意見交換の実施（5/14）
  - ・土佐材パートナー企業との意見交換会（山口6/24、鹿児島7/1～3、高松7/28）
  - ・新たな土佐材パートナー企業候補との産地商談会（高知10/20～21）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

  - ・土佐材パートナー企業との意見交換会（8/28大阪、9/10東京）の中止、web開催の個別調整
- (4) 海外への販売促進
  - ・JETRO高知と連携したセミナー開催のためのミーティング（4/8、6/30）
  - ・台湾建築建材展（12/10～13）に向けた出展予定者ミーティング（7/8）
  - ・JETRO高知主催による木材輸出促進セミナーの開催（8/20）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

  - ・土佐材流通促進協議会（輸出部会）の中止（4/9）
  - ・メゾン・エ・オブジェ（フランスパリ）の中止（9/4～8）
  - ・台湾国際建築建材展の中止（12/10～13）

見えてきた課題

\*新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組内容や手法の再検討が必要

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）
  - ・社会構造の変化に対応した木材利用（サテライトオフィスの木造・木質化等）の企画・提案の検討
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
  - ・新型コロナウイルス感染症への高知県の対応の目安を考慮した営業活動の実施
- (4) 海外への販売促進
  - ・輸出（予定）先における新型コロナの影響に関するイベントや渡航等の情報収集が必要

令和3年度の取り組み（予定）

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）
  - ・木材利用推進全国会議を通じた木造建築等のPR（総会、交流会、セミナー、見学会、web動画配信等）
- (2) 県産材を活用した木造住宅建築の支援
  - ・住宅助成事業の実施
  - ・住宅分野へのJAS製材品の利用増
  - ・ぷらっとホームMOKU（木と人出合い館）を活用した木造住宅等木の良さの情報発信
  - ・テレビ番組による情報発信
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
  - ・土佐材パートナー企業との意見交換会の開催、非住宅部材等の提案
  - ・県外イベントへの出展及び商談会の開催
    - ※訪問先・開催地の新型コロナウイルス感染症のリスクを踏まえて判断
    - ※新たに配置するTOSAZAIセンター関西駐在による取り組みの強化
- (4) 海外への販売促進
  - ・土佐材流通促進協議会（輸出部会）の開催
  - ・JETROとの連携による木材輸出の促進に向けたセミナーの開催
  - ・INAP唐津（韓国）・国際建築建材展（台湾）への出展
    - ※開催地の新型コロナウイルス感染症のリスクを踏まえて判断

【令和2年度末の目標】

1. 流通拠点、土佐材パートナー企業、施主となる企業への営業回数の増加 = R2：150回（R元比 +15回）
2. 戸建て住宅の木造率 = R2：全国平均以上（R元 92.9%（全国：90.3%））
3. 県外流通拠点における県産製材品の取扱量の増加 = R2：8.5千m<sup>3</sup>（R元比 +0.5千m<sup>3</sup>）
4. 県産材製品の輸出量 = R2：2.4千m<sup>3</sup>（R元比 +0.2千m<sup>3</sup>）

【直近の成果】

1. 流通拠点、土佐材パートナー企業、施主となる企業への営業回数の増加：741回（11月末）【対前年同期比144%】
3. 県外流通拠点における県産製材品の取扱量の増加：6,218m<sup>3</sup>（11月末）【対前年同期比114%】
4. 県産材製品の輸出量：1,049m<sup>3</sup>（11月末）【対前年同期比79%】